

101115
428

日産労働聯盟支部解散

大正十年十月廿八日 鏡小工場解散(最初) 吾木田
今年 十月二日 鏡工場大塚支部解散(最後)

藏首者の産有る者

久保田 村山健次郎

日産労働聯盟

労働者の仇敵？……南部麒四郎を葬れ？

小銃製造所長、南部某は左の暴言を吐いたで、吾等は、彼れに、質問の巨響を放つものである

「労働聯盟に入會し組合運動を爲す時は普般は、直らに閉鎖すべし」と吾等に言つた

▲問、國防機關は、國家の存立する以上、當局より勝手に閉鎖すべきものにあらず、彼れ南部某は、無謀にも聯盟を切筋さん爲め、「閉鎖」の二字の本に三千の會員を強制的に退會せしめ、此暴言が陸軍省から出たか、南部某から出たか、國民として、質問する、如何に？……

●一、彼れ南部某は、小銃製造所は三千數百の労働者は不必要である、七百人あれば平時は充分であるからお前達が組合に入會して居るなら、當局は、相當、考へがあるで、暗に、退會を強要した

▲問 吉田兵衛局長は、陸軍では一切尖業者は出さないと言明した、然るに、一、製造所長の南部某が解雇すると將して何れか真か？

陸軍部内の不統一は表示せられた。吾等は南部某の暴言でかかる事と信じて疑はない如何に？……又、小銃製造所が今日の工場七百の職工にて作業が充分であるから、殘餘の三千人を不必要と云ふなら、陸軍、幾千万の現役兵も平時は不必要ではな、小銃製造所が、七百で仕事は充分なら、日本の陸軍も二ヶ師團あれば充分だ、三千幾百人を七百人に減するなら、陸軍の二ヶ師團の團も二ヶ師團に減する必要がある、南部某、如何に？……

返答聞こつて……

要するに、彼れ、南部某は自己の出身出世を、夢め見て、彼れが一つ聯盟を打ち出して陸軍の幹部の信用を得て、提理にでもなつて、終には男爵でもらつて、華族にでもならうとする、野心に過ぎない、◎々、日本の外交が砲兵工廠を閉鎖してうまく行くと思ふか、暴言にも程がある、彼れこそは僥倖だ、不慮だ、日本の今日、幾千の失業を一時に出して社會が無事に済むと思ふが、馬鹿者め三千の労働者だ、幾万の家族を犠牲にしてまで、自己の榮達を計らうとする彼南部某を葬れ

大正十年十一月十五日